

教科目標

作業療法士科

養成目的

豊かな人間性・コミュニケーション力・トータルマネジメント力を身につけた、病院はもちろんのこと、地域でも活躍することができる作業療法士を養成します。

地域移行が進む中で必要とされる、医療人だけでなく地域のさまざまな方と円滑にコミュニケーションを行う能力と、多面的に対象者を捉えることができるトータルマネジメント力を身につけ、対象者が必要とする支援を実践できる豊かな人間性を身につけた作業療法士を養成します。

教育目標

多世代交流を通して、地域生活の援助や多職種連携にとって必要となる円滑なコミュニケーション力と対象者を環境も含めて多面的に捉えることができる複数の視点や広い視野を身につけます。そして、多様な対象者を支援できる豊かな人間性と知識や技術、実践力を身につけます。

取得目標資格

1. 作業療法士（国家資格）
2. 福祉住環境コーディネーター2級
3. 認知症サポーター

就職分野

医療：病院、クリニック など

介護：介護老人保健施設、デイケア、デイサービス、訪問リハビリテーション、訪問看護ステーション など

福祉：児童発達支援センター、放課後デイサービス、就労移行支援事業所、生活介護事業所 など

保健：保健所、地域包括支援センター、精神保健福祉センター、地方自治体 など

教育：特別支援学校、教育委員会 など

労働：障害者就業・生活支援センター、障害者職業センター、ハローワーク など

司法：刑務所、医療刑務所、保護観察所 など

職種

作業療法士（O T : Occupational Therapist）

学年・学科到達目標

1年次：社会人としてのマナーを身につけ、専門基礎知識を定着できる。

前期：笑顔で自ら挨拶し、クラスメイトとの人間関係を構築して同じ作業療法士を目指す者としての仲間意識を持ち、学習習慣を身につけることができる。

後期：社会人として約束を守り、専門基礎知識を定着できる。

2年次：コミュニケーション能力を身につけ、評価実習に合格できる。

前期：対象者に合わせたコミュニケーション能力、専門知識・技術を主体的に身につける。

後期：臨床評価実習に合格できるコミュニケーション力、専門知識・技術を身につける。

3年次：医療人としてのマナーを身につけ、臨床実習・国家試験・就職試験に合格できる。

前期：臨床実習に合格できる問題解決力、専門知識・技術を身につける。

後期：国家試験に合格できる知識、就職活動に必要な社会人基礎力を身につける。

キャリア教育マップ

* 主体性：「Hand-book of Life Style」から第3の原則「自分でやろう」に該当する

計画力**:「Hand-book of Life Style」から第1の原則「目的をもってやろう」[第2の原則「大事なことからやろう」]に該当する